

「ふれあいタクシー」は運行開始から13年目を迎えました！

ふれあいタクシーは、買い物や通院などを支える「地域移動の手段」として、多くの町民に利用いただいています。一方で、「名前は知っているけれど使い方がわからない」「タクシーとどう違うの？」という声も少なくありません。

今回は、ふれあいタクシーの「役割」と「使い方」を、あらためて紹介します。

☎ 広川町役場企画課企画係 ☎ 0943-32-1196



ふれあいタクシーの役割を知ろう

※ふれあいタクシーは国土交通大臣の許可を受けて運行しています。

ふれあいタクシーは、一般のタクシーとは違い、病院やスーパーなど、生活の拠点や路線バスなどの幹線交通へつなぐ町内移動を原則とした「乗合交通」です。

ポイント

1

「乗り合う交通」です

決まった時間・エリアの中で、ほかの人と一緒に乗り合いで利用します。

「貸し切りタクシー」ではなく、順番にそれぞれの目的地に立ち寄りながら運行します。



ポイント

2

「交通の空白」を埋めます

乗る場所、降りる場所は自由です。自宅の前からでも、町内のどこからでも乗ることができ、行きたい場所（町内）で降りられます。

※一部の町外目的地には出かけられません。

■久留米市：ゆのそ献上の湯
■八女市：公立八女総合病院
堀川バス八女営業所
八女リハビリ病院

ポイント

3

「路線バス」へつなぎます

ふれあいタクシーで、堀川バス（久留米立花線）や西鉄バス（国道3号）の町内のバス停まで行きます。

ここで路線バスに乗り継ぐことで、より遠くへも出かけることができます。



ふれあいタクシーの使い方 ～かんたん3ステップ～

①登録する

ふれあいタクシーを利用するには、事前登録が必要です。

②予約する

予約専用ダイヤルへ電話利用の30分前までに予約
※8時便は7:40までに予約

③乗車・支払い

指定の場所で乗車
降車時に支払い

登録方法

広川町役場3階企画課の窓口または電話で申し込みできます。

※広川町に住んでいる人は、誰でも登録可

運行日時

(月)～(金) 8:00～17:00 (1時間に1便)

※(土)(日)(祝)、12/29～1/3は運休

料金（片道・1人あたり）

行き先	片道料金
広川町内（どこでも） ゆのそ献上の湯 / 八女リハビリ病院	200 円
八女公立総合病院 堀川バス八女営業所	400 円
小学生	100 円
未就学児（保護者の同伴が必要）	無 料

ふれあいタクシー予約専用番号

☎ 0943-32-5489

受付時間
7:30～16:30

みんなのヒロカ話^ワ

VOL.3



広川町役場産業課
商工観光係

比嘉聡太さん

広川町で活躍する人をリレー形式で紹介するコーナー。第3回は、広川町役場産業課商工観光係の比嘉さんです。

「ゆいまーる」の精神で広川町を盛り上げる

緋の里から、緋の里へ

（はなばららよう）

沖縄県南風原町で生まれ育った比嘉さんは、7年前の大学進学で福岡へ。「琉球緋」の産地である故郷から広川町への移住に、「偶然か必然か、緋の里から緋の里へ移住したことに何かの縁を感じます」と語ります。教員か役場職員を夢見て、大学で数学の教員免許を取得。広川町との出会いは大学在学中のボランティアでした。活動を通して人のつながりの深さに心をひかれて、入庁を決めました。

地域との交流が日々の楽しみに

産業課商工観光係に配属され3年目になりますが、初年度から地域の人と関わり、顔や名前、広川の方言を覚えることで精一杯だったと振り返ります。「実は今でも方言をすべては理解できず、フィーリングでどうかしています」と笑う一面も。今では消防団やボランティアを通じて、地域の人や子どもたちと関わる機会がさらに増えました。「一人暮らしの私にお米や野菜をおすそ分けしていただくなど、温かい人に恵まれていると実感します。皆さんとの交流が楽しい」と充実した表情を見せます。

つながりと助け合いを大切に

座右の銘は、沖縄の方言で「助け合い」を意味する「ゆいまーる」。「この言葉の通り、今後も周りとのつながりや助け合いを大切にしたい」と語る比嘉さん。町内で見かけたら、ぜひ「広報見たよ」と声をかけてみてください。

次回はどんな人にバトンが渡るのでしょうか。お楽しみに！

広川文芸

ひろかわ俳句会



熊蟬の今を命と啼きにけり
暑さにも負けず頑張る畑の草
夏休み祖母の笑顔に迎えられ
水田に揺るる眉月こぼれけり
遠き日の恋文曝す土用あい
汗だくのシャツに湿布のふやけゆく
かき氷なかの金時ご褒美か
極暑日や青息吐息室外機
平和への祈りこめ咲く仏桑花
酷暑日の激震なるや肥後の里
諸に接ぐアサガオ咲きて笑顔呼ぶ

櫻の会

重たげに花をフェンスにもたれかけ行き交ふ人を眺むる百合よ
定年後に八女地えらぶ脳外科医助かる人を増やしたいとふ
「元氣ですか」ただそれだけが全てなり老の五体を杖に支へて
賜りし源平カズラは夫の手で可憐に咲きて夏を歌へり
瑞々しき五色の野菜とり揃へけふは我が家のサラダ記念日
ひと揃ひ眠れる冬を連れてくるアイスが今は溶けないように
夕顔の白より白く咲き初めて光の君を待ちこがれある

青木佳代子
酒井 司
西村智佳子
原口あつ美
水本 艶子
溝田 幸
一瀬砂智子
原口 正信
渡辺 弘子
坂田 康治
結束 節子

中倉 明美
一瀬砂智子
山崎美代子
濱武美智子
小西 俊郁
丸山 雪乃
青木佳代子

ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

広川町にある巨樹・珍樹 その25

シラカシ（ブナ科）

「カシ（樫）」と総称しても、葉の形やドングリの形状などから、いくつかに分類されます。

内田区の諸藤公園内には、シラカシが2本並んでいます。1本は幹の中段で主幹が切られており、元の法量は不明ですが、もう1本の法量は、

幹周 2・4メートル

樹高 約15メートル

推定樹齢 約100年

を測ります。

シラカシのドングリは卵形で、柱頭が3方に開いています。春に開花して受粉し、秋には成熟する1年生樹木です。樹齢を約100年と推定する根拠は、この場所には大正時代の中ごろから、諸藤甚三郎経営の諸藤酒造場があったためです。

昭和3年（1928年）11月の昭和天皇御大典に際して、当時の上広川村水原の田圃が主基祭田の候補地に選ばれたものの、最終的な決定には至りませんでした。その代わりに、大嘗宮



▲諸藤公園のシラカシ（内田区）

御造営を献上しています。その慶事を記念して、諸藤酒造場では「主基瑞穂」という銘柄の清酒を造りました。諸藤公園の一隅には、そのかめ樽が保存されています。当該樹も、諸藤酒造場に伴う屋敷にあった樹木の一部が残されたものではないかと考えます。諸藤酒造場は、戦後ほどな

く営業を停止し、昭和62年（1987年）10月、子孫からその跡地を広川町へ寄贈された経緯があります。これが現在の諸藤公園の来歴です。カシはポピュラーな樹木ですが、貫禄があつて見栄えのする木はなかなか見当たりません。前述した来歴とともに、できることなら保存樹として、

守り残してほしいものです。

※諸藤酒造場の詳細は、広川町立図書館にある『広川町史（資料編）』の、ふるさと（498ページ、諸藤公園由来碑）をご覧ください。